

(44) 大分県

①主な被害想定結果整理表

都道府県名／市町村名	想定地震名	地震規模 マグニ チュード	最大震度	人的被害			
				死者数		負傷者数	
				冬5時	冬18時	冬5時	冬18時
大分県全体	別府地溝南縁断層帯(アスペリティ東)	7.0	7※	2,019	2,247	6,998	7,497
	別府地溝南縁断層帯(アスペリティ西)	7.0	7※	2,362	2,555	6,966	7,448
	崩平山一万年山地溝 北縁断層帯	6.8	6強※	27	24	335	315
	周防灘断層帯	7.0	6弱※	1	1	36	41
	プレート内	7.4	6強※	23	27	646	802
	東南海・南海地震	8.6	5強※	118	45	194	94
うち大分市	別府地溝南縁断層帯(アスペリティ東)	7.0	7※	1,312	1,420	4,667	4,768
	別府地溝南縁断層帯(アスペリティ西)	7.0	7※	1,480	1,574	4,792	4,874
	崩平山一万年山地溝 北縁断層帯	6.8	6弱※	—	—	1	7
	周防灘断層帯	7.0	5弱※	—	—	0	0
	プレート内	7.4	6強※	18	21	470	579
	東南海・南海地震	8.6	5強※	—	0	17	23

※最大震度は震度分布図より読み取った値である

都道府県名／市町村名	想定地震名	建物被害								
		揺れ		液状化		火災[最大]	津波		崖崩れ	
		全壊数	半壊数	全壊数	半壊数	焼失数 (焼失率)	全壊数	半壊数	全壊数	半壊数
大分県全体	別府地溝南縁断層帯(アスペリティ東)	49,158	34,906	1,789	2,954	10,474(2%)	—	—	58	—
	別府地溝南縁断層帯(アスペリティ西)	57,409	38,752	1,793	2,962	10,691(2%)	—	—	58	—
	崩平山一万年山地溝 北縁断層帯	1,736	2,891	292	461	—	—	—	6	—
	周防灘断層帯	80	372	118	195	—	—	—	—	—
	プレート内	968	3,165	2,386	3,903	—	—	—	7	—
	東南海・南海地震	29	119	63	107	—	1,524	3,929	—	—
うち大分市	別府地溝南縁断層帯(アスペリティ東)	27,947	19,987	1,351	2,301	3,584(2%)	—	—	45	—
	別府地溝南縁断層帯(アスペリティ西)	31,573	20,873	1,355	2,306	3,429(2%)	—	—	38	—
	崩平山一万年山地溝 北縁断層帯	2	6	119	210	—	—	—	—	—
	周防灘断層帯	0	—	1	1	—	—	—	—	—
	プレート内	663	1,816	1,335	2,271	—	—	—	4	—
	東南海・南海地震	24	78	30	55	—	—	339	—	—

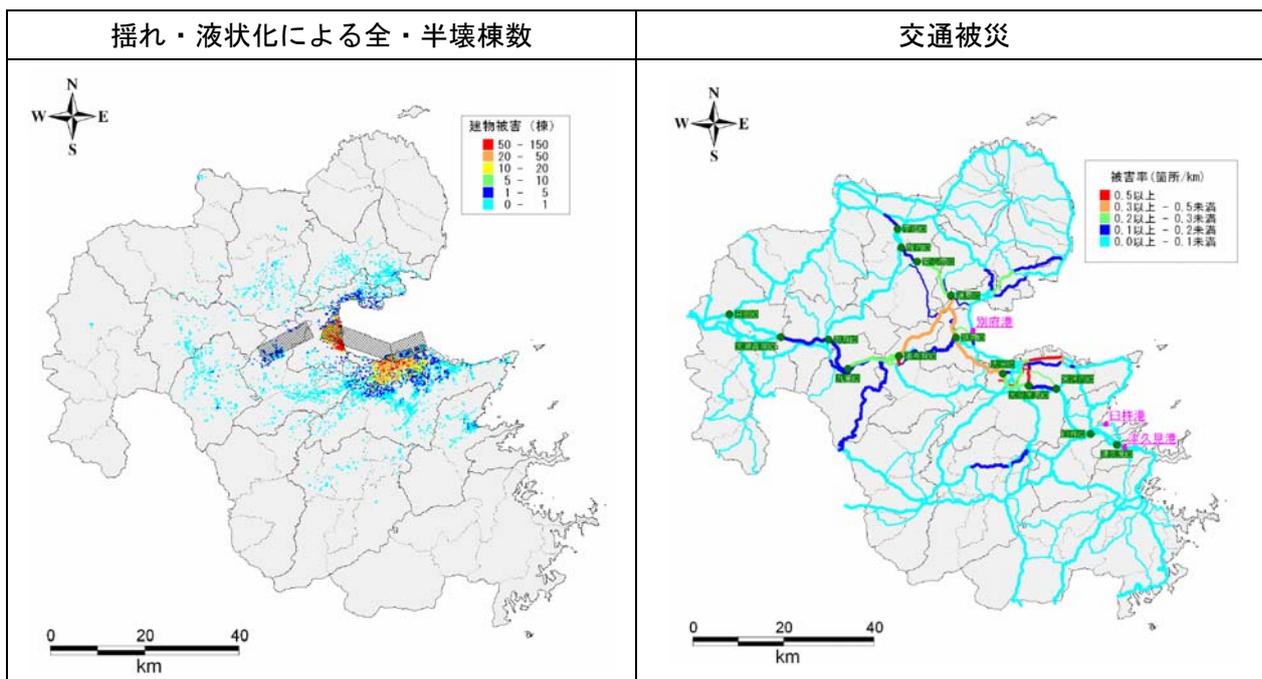
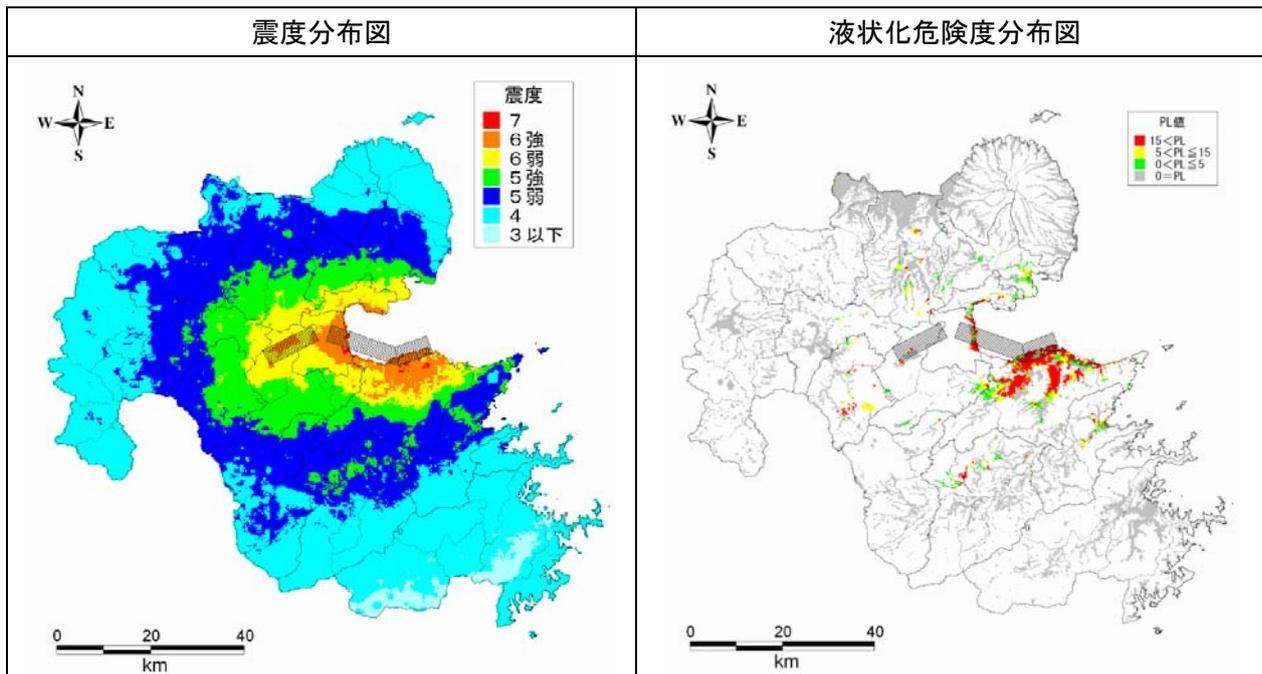
(注) 表内の「—」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

都道府県名／市町村名	想定地震名	ライフライン		
		電力	上水道	電話・通信
		停電世帯数	断水人口(断水率)	通話機能支障件数
大分県全体	別府地溝南縁断層帯(アスペリティ東)	—	610,754(57%)	—
	別府地溝南縁断層帯(アスペリティ西)	—	616,777(57%)	—
	崩平山一万年山地溝 北縁断層帯	—	21,689(2%)	—
	周防灘断層帯	—	1,761(0%)	—
	プレート内	—	223,092(21%)	—
	東南海・南海地震	—	957(0%)	—
うち大分市	別府地溝南縁断層帯(アスペリティ東)	—	442,921(97%)	—
	別府地溝南縁断層帯(アスペリティ西)	—	445,127(97%)	—
	崩平山一万年山地溝 北縁断層帯	—	27(0%)	—
	周防灘断層帯	—	—	—
	プレート内	—	206,683(45%)	—
	東南海・南海地震	—	946(0%)	—

(注) 表内の「—」は、出典の報告書等において被害数値が記載されていない場合、評価対象外の項目である場合等を意味する

(出典：大分県地震被害想定調査報告書 平成20年3月)

②主な被害想定結果図面（以下は全て別府地溝南縁断層帯（アスペリティ西）の地震）（その1）



②主な被害想定結果図面（以下は全て別府地溝南縁断層帯（アスペリティ西）の地震）（その2）

